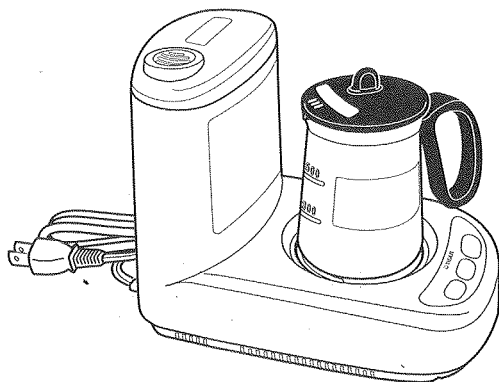


タイガー IH湯わかし器 (加湿機能つき)

品番

CIH-A 型



取扱説明書

保証書つき

ご使用になる前に、この取扱説明書を最後までお読みください。
お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる
ところに必ず保管してください。

もくじ ページ

安全上のご注意	1~4
各部のなまえとはたらき	5
使い方	6~8
お手入れの方法	9~10
仕様	10
故障かな?と思ったら	11
保証書	12~13
保証・サービスについて	14
連絡先	15

安全上のご注意 (ご使用になる前によくお読みの上、必ずお守りください。)

- ※お使いになる人や他の人々への危害や損害を未然に防止するために必ずお守りください。
- ※本体に貼付しているご注意に関するシールは、はがさないでください。
- ※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。
- ◆注意事項は、誤った使い方で生じる危害や損害の程度を、以下の表示で区分しています。

警告

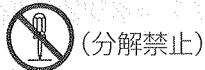
「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を示します。

注意

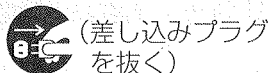
「傷を負う、または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容を示します。

◆絵表示の例

この絵表示は行為を「禁止」する内容です。



この絵表示は行為を「強制」したり、「指示」したりする内容です。



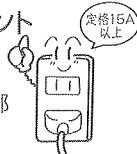
改造はしない
修理技術者以外の人は分解したり、
修理をしない

火災・感電・けがの原因となります。



定格15A以上のコンセント
を単独で使用する

他の器具と併用すると分岐コンセント部
が異常発熱して発火する場合があります。



交流100V以外では使用しない

火災・感電の原因になります。



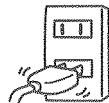
差し込みプラグにほこりが付着して
いる場合は、よくふき取る

そうしない場合、
火災の原因になります。



電源コードや差し込みプラグが痛ん
だり、コンセントの差し込みがゆる
いときは使用しない

感電・ショート・
発火の原因になります。



トッププレートに
衝撃を加えない

万一ひびが入ったり割れた場合、そのまま使うと
過熱や異常動作、感電の原因になります。
このような場合はコンセントから差し込みプラグを
抜いて使用を中止し、
すぐに修理を依頼して
ください。



警告



水につけたり、
水をかけたりしない

ショート・感電の
恐れがあります。



サーバーおよび
加湿器の満水目盛
以上に水を入れない

お湯がふきこぼれ、やけどの恐れ
があります。またショート、感電
の恐れ、故障の原因になります。



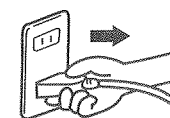
使用中や使用直後は傾けたり、
ゆすったり、移動させたり、
持ち運ばない
衝撃を加えない

お湯がこぼれ、やけど
の原因になります。



お手入れの際は必ず差し込みプラグ
をコンセントから抜く

また、ぬれた手で抜き差し
しないでください。
感電やけがをすることが
あります。



子供だけで使わせたり、幼児の
手の届くところで使わない

やけど・感電・けがを
する恐れがあります。



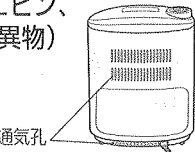
転倒させない

お湯が流れ出て、やけどの
恐れがあります。



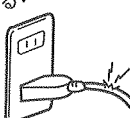
通気孔やすき間にピン、
針金など金属物(異物)
を入れない

感電や異常動作してけがを
する恐れがあります。



電源コードは傷んだまま使用しない
(傷つける・破損したまま使用する・
加工する・無理に曲げる・引っばる・
ねじる・たばねるなど)

また重い物を載せたり、挟み込んだり
すると、破損して火災・感電の原因に
なります。



注意



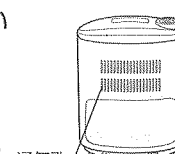
不安定な場所や、熱に弱い
敷物の上では使用しない

転倒すると熱湯がこぼれ、
やけどやけがの原因になります。
また火災の原因になります。



通気孔をふさがない

テーブルクロスなどの上で使用し
通気孔をふさぐと本体内部の温度
が上がり、火災の原因になります。



水のかかるところや、火気の近くでは
使用しない

感電や漏電の原因
になります。



湯わかし中は、
お湯を注がない

お湯が飛び散り、
やけどの原因になります。



⚠ 注意

缶詰やアルミ箔など、専用のサーバー以外のものをトッププレートに載せない

破裂したり赤熱して、けがややけどをすることがあります。



サーバーは不安定な状態で使用しない

トッププレートのふちに乗り上げた状態で使用すると誤動作したり、落下などにより、やけどやけがの原因になります。



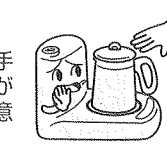
サーバーふたおよび加湿容器ふたを開けるときは、蒸気にふれない

やけどの原因になります。



高温部にふれない

サーバーふた・サーバー・とっ手・加湿容器・加湿容器ふたなどが熱くなりますので、やけどに注意してください。



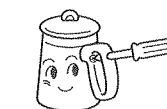
加湿容器ふた、およびサーバーふたの蒸気孔をふきなどでふさがない

お湯がふきこぼれてやけどをすることがあります。



サーバーのとっ手がグラグラするときは締め直してから使用する

そのままお使いになると、とっ手がはずれてやけどをする原因になります。



差し込みプラグを抜くときは、必ず差し込みプラグを持って引き抜く

そうしない場合、感電やショートして発火することがあります。



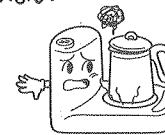
サーバーの下に紙などを敷かない

サーバーの熱で紙がこげたりします。



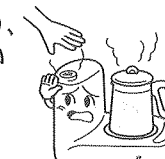
カラダきや過熱をしない

やけどやサーバー、サーバーふた、とっ手、加湿容器、加湿容器ふたの破損、変色の恐れがあります。



蒸気孔にさわったり、顔などを近づけない

やけどの原因になります。特に乳幼児には、さわらせないようにご注意ください。



使用中や使用後しばらくは、サーバーの熱でトッププレートが熱くなっているので手をふれない

やけどをすることがあります。



使用中や使用直後はお手入れをしない

高温部にふれ、やけどの原因になります。



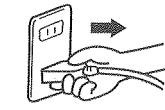
心臓用ペースメーカーをお使いの方は、本製品のご使用にあたって医師とよく相談する

本製品の動作がペースメーカーに影響を与えることがあります。



使用時以外は、差し込みプラグをコンセントから抜く

そうしない場合、けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。

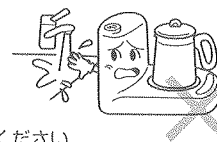


お願い

火災・感電・やけど・故障などを防ぐため
ご使用前によくお読みの上、必ずお守りください。

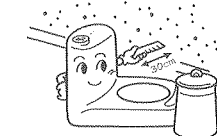
水のかかりやすい場所では使用しない
丸洗いはしない 底部はぬらさない
加湿容器の給水時に水をあふれさせない

本体内部に水が入り、ショート・感電の恐れ、故障の原因になります。また加湿容器に給水するときはサーバーなどに入れ、直接蛇口から給水しないでください。

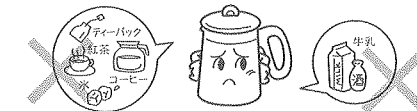


壁や家具・天井などに直接蒸気をあてない

30cm以上はなして使用してください。そうしない場合、壁や家具を傷める原因になります。



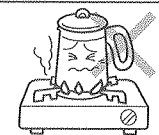
サーバーに水やお湯以外（牛乳、酒、お茶類）のものを入れてわかさない
水を入れて保冷用として使わない



ティーバッグやお茶の葉、インスタント食品を入れて使用すると泡立ってふきこぼれ、やけどの恐れがあります。また焦げつき、腐食、故障の原因になります。氷は結露が生じ、感電・故障の原因になります。

サーバーを直火にかけない

熱変色、変形、破損の原因になります。



加湿容器ふた、およびサーバーふたの蒸気孔をふきなどでふさがない

ふたの変形、本体の故障の原因になります。

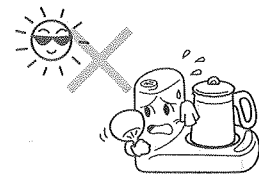


磁力線が出ているので、磁気に弱いものを近づけない

テレビ、ラジオなどは雑音の出る恐れがあります。自動改札用定期券・時計・カセットテープ・ビデオテープ・キャッシュカードなどは記憶が消える恐れがあります。

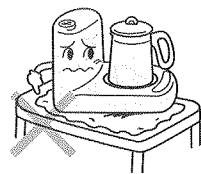
直射日光が長時間あたる場所や、暖房器具などの火気の近くで使用しない

加湿容器内の空気が膨張し、加湿容器から熱湯があふれる恐れがあります。また、本体が熱くなるなど、変形・故障の原因になります。



熱に弱いテーブルなどの上に置かない

テーブル、敷物などが変色、変形することがあります。



加湿容器に水以外（40℃以上のお湯、化学薬品、汚れた水、芳香剤など）のものを入れない

故障の原因になります。



サーバーの外側や底部、トッププレートに水気や異物をつけたまま使わない

お湯がわかなかったり、故障の原因になります。またトッププレートの上に金属製の小物（ナイフ、スプーンなど）を置かないでください。加熱され、やけどをする恐れがあります。



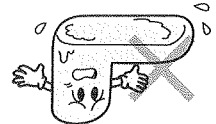
差し込みプラグは根元まで確実に差し込む
差し込みが不十分だと、感電や発熱による、火災の原因になります。

タコ足配線はしない

火災の恐れがあります。

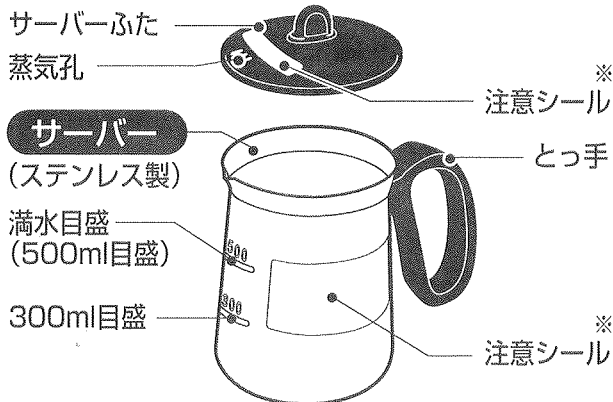
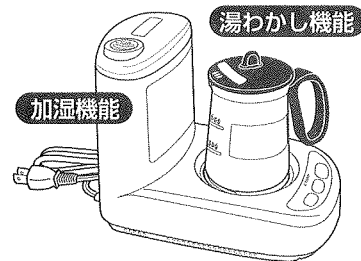
本体をさかさにしない

底部が水にぬれていると、底部から水が入り、故障の原因になります。



各部のなまえとはたらき

湯わかしと加湿の1台2役。
同時使用できます。



操作・表示部

加湿ランプ(黄) 湯わかしランプ(黄) 電源ランプ(赤)



加湿キー 湯わかしキー 電源キー

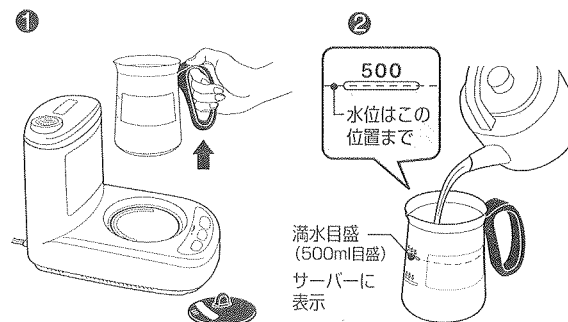
使い方 (ご使用前に「安全上のご注意」をお読みください。)

プラグの抜き差しについて

- 本体設置後、差し込みプラグをコンセントに差し込んでください。
- 使用時以外は電源キーで、電源を「OFF」にして電源ランプを消しておいてください。
- しばらく使用しないときは差し込みプラグをコンセントから抜いてください。
- お手入れの際も必ず差し込みプラグをコンセントから抜いてください。

湯わかし機能

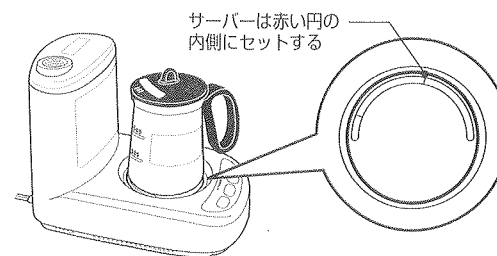
1 サーバーに 水を入れる



- サーバーふたをとり、サーバーを本体からはずして水を入れます。

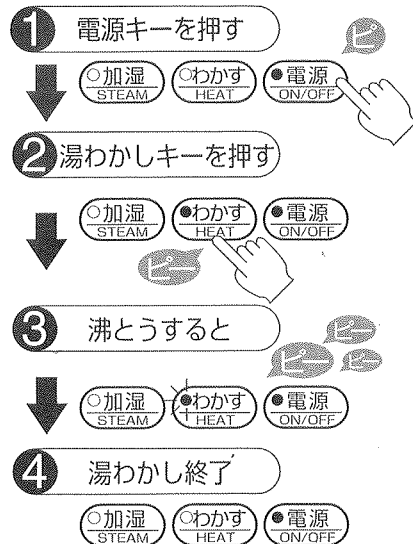
- 満水目盛(500ml目盛)以上の水を入れないでください。お湯がふきこぼれ、やけどの恐れがあります。
- 専用のサーバー以外のものは載せないでください。破裂したり赤熱して、けがややけどをすることがあります。
- カラダきやごく少量でわかすと、サーバーを変色させることがあります。

2 サーバーふたを載せ、 本体にセットする



- サーバーはトッププレートの赤い円の内側にセットしてください。
- サーバーの外側や底部、トッププレートに水気や異物をつけたまま使わないでください。お湯がわかかなかったり、故障の原因になります。

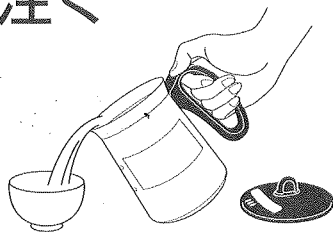
3 湯わかし(沸とう)



- 湯わかし中にサーバーをはずすと湯わかしが止まりますのでご注意ください。
- 保温はされません。湯わかし終了後放置するとお湯は冷めますのでご注意ください。
- サーバーをセットしないで湯わかしキーを押したり、カラだきしたりすると警告音が鳴り、加熱されません。

■湯わかし時間の目安
：約8分

4 サーバーふたをとり、お湯を注ぐ



※続けて湯わかしする場合は、約20分以上間をあけてから行ってください。そうしない場合、正常に動作しない場合があります。

- サーバーふたを開けるときは、蒸気にふれないでください。やけどの原因になります。
- サーバーふたは、特に沸とう直後高温になり、内側に水滴が付きまますのでやけどにご注意ください。
- 使用中や使用後しばらくは、サーバーの熱でトッププレートが熱くなっていますので手をふれないでください。やけどをすることがあります。

5 使用後は

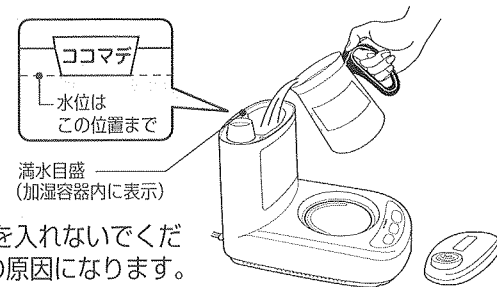
- ①電源キーを押して電源を切ります。(電源ランプが消えます。)
- ②サーバーに残ったお湯を捨てます。

- サーバーふたとサーバーは使用後、使用前に必ずお手入れしてください。
- 残り湯は放置しないでください。サーバーの腐食やにおいの原因になります。

加湿機能

1 加湿容器に水を入れる

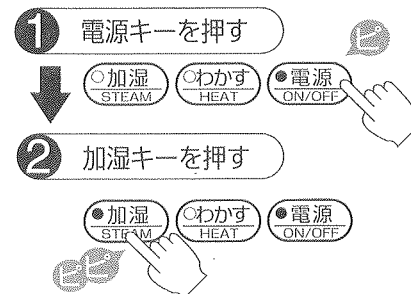
- 加湿容器ふたをとり、サーバーなどで水を入れます。
- 加湿容器内の満水目盛以上に水を入れないでください。ショート・感電の恐れ、故障の原因になります。



2 加湿容器ふたを加湿容器にセットする



3 加湿する



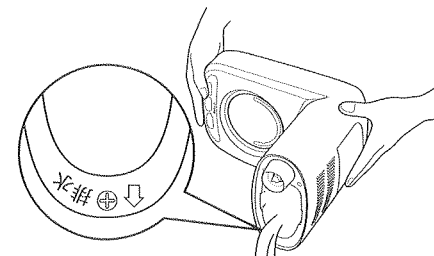
- 加湿ランプが点灯してから約4分後に蒸気が出始めます。
- ※加湿開始後約10時間たつと、自動的に加湿が止まります。

加湿容器の水が少なくなった場合

- 加湿容器内の水が少なくなると、ヒーターへの通電が自動的に止まり、加湿ランプが点滅に変わります。
- 続けて使用する場合は、加湿容器に水を補給してから加湿キーを押してください。

4 使用後は

- ①電源キーを押して電源を切ります。(加湿ランプ、電源ランプが消えます。)
- ②差し込みプラグをはずします。
- ③加湿容器ふたをはずし、図のような方向から残った水を捨てます。



- 蒸気パイプ、またはトッププレートのある方向から水を捨てないでください。やけどの恐れや、故障の原因になります。
- 水は放置しないでください。加湿容器の変色やにおいの原因になります。

お手入れの方法

- 本体を水につけたり、水をかけたりしないでください。ショート・感電の恐れがあります。
- 本体の丸洗いは絶対にしないでください。内部に水が入り、故障の原因になります。
- 必ず差し込みプラグをはずし、サーバーの残り湯、加湿容器の残り水を捨てて、本体・サーバー・加湿容器がさめてからはじめてください。
- シンナー類、クレンザー、金属たわし、ナイロンたわし、化学ぞうきん、漂白剤などは使用しないでください。傷がついたり、においの原因になります。
- 食器乾燥器に入れて乾燥させないでください。変形の原因になります。

サーバー

サーバーの色むらや変色、水中の浮遊物について

- サビのような赤いはん点（もらいサビ）
- 乳白色・黒色・虹色などの変色
- 白い浮遊物（ミネラル成分）

水に含まれるミネラル成分（カルシウム・マグネシウム・鉄分など）の作用によるものでサーバー自体の変色や腐食ではありません。衛生上問題ありませんが、汚れが目立ってきましたらこまめにお手入れしてください。

●通常はスポンジで洗います。

汚れが落ちにくい場合は、スポンジに市販のステンレス用みがき液をつけてサーバー内側のすじ目（研磨目）にそってこすり落とし、十分に水洗いをしてください。

※サーバーの外側にステンレス用みがき液を使うと傷がつく原因になります。

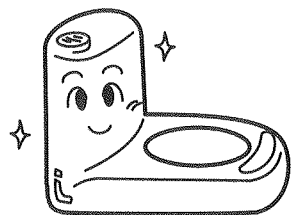
※長期間お手入れしないと、汚れがこびりついて落ちにくくなったり湯わかし中の音が大きくなったりしますので、こまめにお手入れしてください。

ミネラルウォーターやアルカリイオン水を湯わかしした場合

サーバーにカルシウム分が付着しやすくなりますので、よりこまめにお手入れしてください。

本体外側

よくしぼったふきんで汚れをふきとってください。



加湿容器ふた・サーバーふた

やわらかいスポンジを使用して洗ってください。



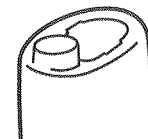
トッププレート

よくしぼったふきんで汚れをふきとってください。とれにくい汚れは、やわらかいスポンジに台所用合成洗剤（食器用・調理器具用）をつけてこすり、かたくしぼったふきんでよくふきとってください。



加湿容器内

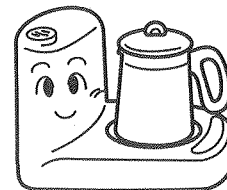
蒸気パイプ内の汚れが加湿容器内に落ちてきますのでこまめにお手入れしてください。加湿容器内の水は毎日入れ替えてください。週に1～2回程度よくしぼったふきんで汚れをふきとってください。



長期間で使用にならないときは

サーバーふた、加湿容器ふた、本体、サーバー、加湿容器内などの汚れを落とし、乾いた布でふき、自然乾燥させます。

（特にサーバー、加湿容器内は充分に乾燥させます。）



仕様

容 量(約)	サーバー	500ml
	加湿容器	700ml
電 源		交流100V 50-60Hz
消 費 電 力	湯わかし時	600W
	加 湿 時	60W
外形寸法(約)	幅	18.3cm
	奥 行	27.2cm
	高 さ	23.2cm
質 量(約)		2.2Kg
温度ヒューズ	湯わかし機能	115℃
	加 湿 機 能	135℃
コードの長さ(約)		1.5m

●この製品の加湿機能は、一般の加湿器よりも蒸気のでる量が少ない構造になっています。

●高山・厳寒地など特定地域においては、所定の性能が確保できないことがあります。

こうした場所での使用はお避けください。

故障かな？と思ったら

- 改造はしないでください。また修理技術者以外の人は、分解したり修理をしないでください。火災・感電・けがの原因となります。

このような場合	点 検 と 処 置
お湯がわからない (湯わかしランプがつかない)	差し込みプラグがコンセントからはずれていませんか？ 電源ランプが消えていませんか？→電源キーを押して点灯させる。
湯わかしランプに切り換わらない	約50℃以上のお湯を入れていませんか？ →水を入れる。
お湯があふれる	水を満水目盛(500ml目盛)以上入れていませんか？
お湯がにおう	ご使用当初は、樹脂などのにおいがすることがありますが、ご使用とともに少なくなります。 水道水に含まれる消毒用塩素(カルキ臭)の量により、わかしのお湯がにおうことがありますが、これは故障ではありません。
湯わかし中に“ゴー”という音がする	湯わかし中に発生する泡がはじける音で、故障ではありません。サーバーが汚れてくると特に音が大きくなりますので、こまめにお手入れしてください。
使っている途中で湯わかしされなくなった	本体周囲の温度は高くありませんか？通気孔がふさがれていませんか？カラダきをしていませんか？ →使用を中止し、電源を切り、約20分ほどしてからもう一度操作してください。
蒸気がでない	加湿容器に水が入っていますか？→水が少なくなるとヒーターへの通電が自動的に止まり、加湿ランプが点滅します。 加湿開始後約10時間たつと、自動的に加湿が止まります。

万一、サーバーが破損した場合は、部品として別売りもいたしておりますので、お買い上げの販売店にお問合せのうえ、お買い求めください。

- 樹脂成形品の一部に線状および波状の箇所が見える場合がありますが、これはウエルドラインおよびフローマーク(樹脂成形時に発生する線状および波状の跡)でご使用上の品質に支障ありません。

- 樹脂成形品は3年ぐらいたつと傷んでいることがあります。お買い上げの販売店にご相談ください。